

第1回

# 男と女の 着物講座

「モテるオヤジ」たちをもっと世に送りだすべく、その技を磨くために企画されたピアジェ主催による「LEON LESSON」。第一回目となる今回は、銀座もとの泉二弘明さんを講師に迎え、東京青山にあるレストランにて「男と女の着物講座」が開催された。

写真/林 敏一郎 文/宮崎謙士



数十名の参加者がひとつのテーブルを囲んだ。美しいピアジェのスタッフがあいだに入り、レッスンそっちのけで会話が花が咲く場面も。三大珍味を使った豪華な料理の最後に「コーヒークップの裏側を見てください」のアナウンスが。見事印がついていた人には、なんとピアジェ・ポロをモチーフにしたカフリンクスが贈られるというビッグサプライズが待っていた。



## すぐに使える! 実践的着物レッスン



サルキシアン氏からタキシードやフォーマルなスーツに相当する、袴を着てみたいとの要望が。その場で急速、袴のはき方の実演がはじまった。ほかに「着物と羽織の色や素材感で遊ぶ」「腰で着る」「帯結びは真後ろではなく、脇に寄せるのが粋」など着物流のハズシのテクニクも披露。参加者からの「どうやって用を足すのか」という素朴な質問にも泉二さんは、お店と同じようにひとつひとつ丁寧に対応していた。



## PIAGET POLO

着物にも似合う  
優美なフォルム

昨年復刻された話題となった、ブレスレットと文字盤が一体となったポロの美しいフォルムは、日本的な「間」の美意識を感じさせ着物にもよく似合う。イエローゴールド、自動巻き。220万円/ピアジェ (ピアジェカスタマーデスク)



銀座もとの泉二弘明さん

「着物を着て帯を締め、羽織を着ればどんなに着飾った外国人女性の前でも隠す必要はありません」。着物でパーティーに出かけるのも、日本男児ならではのワザである。

参加者たちも、振る舞われたワインの余勢も借りてか、着物談義に花が咲き、その熱気を帯びたまま、第一回目の着物レッスンは幕を閉じた。

「男と女の着物」。講師として招かれたのは銀座もとのご主人泉二弘明さん。泉二さんは男性専門の着物店となる、銀座もとの「男のきもの」店をこの秋にオープンさせたばかりで、講師として打ってつけの人である。冒頭で、招待されたピアジェの顧客を中心とする参加者を前に泉二さんは、「お腹の出っ張りも気にしないでいいし、足が短くても目立たない。何よりパーティーのときなどは、スーツよりもインパクトがありますよ」と熱弁を振るった。参加者たちも熱心にその説明に聞き入る。タキシード、スーツ、ジャケット、Tシャツなどの洋服の着こなし方との比較や着物の種類を説明し「着る気持ちは洋服と同じ。難しく考えずカジュアルに楽しんでください」と締めくくった。ピアジェ ジャパンのCEO (経営最高責任者) を務めるアレキシス・サルキシアン氏も着物で参加し「次は、パーティーで礼装の袴を試したい」と意欲的に語った。